

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業（コミュニティセンターとの連携事業）

「ふるさとを未来につなぐには!？」を開催しました。



平成30年2月2日(金)今岡 重夫さん(高松市文化財保護協会会長)を講師にお迎えし、「ふるさとを未来につなぐには!？」を開催しました。

講座では講師が約40年前に執筆に携わった高松風土記や高松市埋蔵文化財センターが発掘調査を行っている勝賀城跡を題材にとり鬼無の習俗について講義していただきました。講義の中で鬼無地域の歴史的変遷や鬼無がお

神楽の里であったことなどをお話していただきました。

また、講師は地元の幼稚園児と保育所児も一緒に毎年参加している「勝賀山登山」で、勝賀城跡の遺構や、佐料地区の「りゅうごん祭り」といった地域の伝統文化について子ども達に伝えていることなど、若者に歴史を傳承していく活動の重要性をお話いただきました。

講座の中で講師は、「皆さん、ふるさとの山に登山はしていますか？」と受講者に問いかけました。地域の山や森には地元ならではの伝統や文化を知る手がかりがあり、そういった所に行って地元の歴史に対する関心をもっと持ってほしいことや、「学校の授業で日本史を学び、全国的な歴史上の出来事、人物等



については勉強しますが、ふるさとの歴史について学ぶ機会はありません。ふるさとを未来につなぐには、もっと地元の若者に対してふるさとの歴史を語っていく機会を増やしたり、若者とともに、ふるさとの地名の由来・歴史等を学ぶことが必要で、そうすることにより、ふるさとに対する愛着心や関心が生まれます。」と、若者とともに地元の歴史

にふれる機会を持つことの重要性をお話していただきました。